

齋宮学講座

歴史・考古・古典などさまざまな角度から、齋宮について学ぶ、年間全5回のオムニバス形式の講座です。通年で取り組まれるもよし、興味のある講座を選択して受講されるのもよし。お好きなスタイルで受講していただける講座です。

会場 齋宮歴史博物館 講堂

定員 各回 120名 (定員を超えた場合、抽選となります)

開催時間 13時30分～15時30分

参加費 無料

6月22日

(土曜日)

第1回

源氏物語の齋院—齋院退下まで—

三重大学人文学部特任准教授 亀田 夕佳 氏

『源氏物語』には、京の賀茂神社の齋王である齋院も登場しています。朝顔の齋院は、光源氏の思いを受け入れない稀有な女君です。彼女の存在によって、物語がどのように豊かな世界となっているのか、齋院退下までを取り上げて読み解きます。

募集期間 4月27日(土)～5月29日(水)

https://apply.e-tumo.jp/pref-mie-u/offer/offerList_detail?tempSeq=1832

お申し込み QR コード



9月28日

(土曜日)

第2回

源氏物語の齋院—帰京後—

三重大学人文学部特任准教授 亀田 夕佳 氏

帰京した齋院の姫君は光源氏と和歌の贈答はしますが、決して彼の意のままになることはありません。そうした女君を描くのはなぜでしょうか。帰京後の物語から読み解きます。

募集期間 7月27日(土)～8月28日(水)

https://apply.e-tumo.jp/pref-mie-u/offer/offerList_detail?tempSeq=1841

お申し込み QR コード



12月7日

(土曜日)

第3回

齋宮顕彰運動の歴史～地元の人々が遺した齋宮の物語～

明和町 齋宮跡・文化観光課 味噌井 拓志 氏

齋宮跡は史跡指定45周年を迎えました。齋宮跡が今も残っているのは、地元の人々による顕彰運動があったからです。近世以降、地域の人々が齋宮をどのように大切にしてきたのか、明和町内に残された痕跡からご紹介します。

募集期間 10月12日(土)～11月14日(木)

https://apply.e-tumo.jp/pref-mie-u/offer/offerList_detail?tempSeq=1842

お申し込み QR コード



1月25日

(土曜日)

第4回

齋宮と伊勢神郡をめぐる宗教環境

齋宮歴史博物館 調査研究課 大川 勝宏

伊勢神宮や齋宮では、『延喜式』などから仏教はタブー視されていたことが窺われます。しかし、古代における齋宮や神宮周辺の仏教の受容は、我が国の歴史の潮流の中で変化していたことが分かってきました。本講座ではその実態に迫ります。

募集期間 12月3日(火)～1月3日(金)

https://apply.e-tumo.jp/pref-mie-u/offer/offerList_detail?tempSeq=1843

お申し込み QR コード



2月22日

(土曜日)

第5回

齋宮歴史博物館が開拓した王朝美術史

齋宮歴史博物館 学芸普及課 榎村 寛之

齋宮歴史博物館が開館以来収集してきた美術資料には、さまざまな物があります。その中でも、美術史的な価値が大きくなったものの楽しみ方をレクチャーします。

募集期間 12月21日(土)～1月22日(水)

https://apply.e-tumo.jp/pref-mie-u/offer/offerList_detail?tempSeq=1844

お申し込み QR コード



※募集期間は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

※募集期間外にお申し込みいただくことはできません。

❁お申し込み方法

■電子申請

当館ホームページのトップページか、三重県ホームページ内「各種手続・サービス」→「電子申請」からお申し込みください。上記 QR コードからもお申し込みが可能です。

お申し込みは、1件の申請につきおひとり様とさせていただきます。

■往復はがき

宛先：515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

「齋宮歴史博物館 齋宮学講座係」

*住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記してください。

締切日必着です。お申し込みは、はがき1枚につきおひとり様とさせていただきます。郵便料金が不足していると、「届かない」、「返信できない」場合がありますので、十分にご注意ください。